

オピオイド誘発性便秘治療薬の効果と副作用に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：平成 29 年 11 月 21 日 ～ 平成 30 年 12 月 31 日

〔研究課題〕 オピオイド誘発性便秘に対するナルデメジンの効果と副作用の予測因子を探索する多施設共同後方視的研究

〔研究目的〕 オピオイドにより起こる便秘に対する治療薬(ナルデメジン)の効果と副作用に、どのような背景(体調や投与するタイミングなど)が影響しているのかを検討します。

〔研究意義〕 効果や副作用を予測する因子が見つかった場合、治療薬のより効果が高く副作用の少ない使用方法につながる可能性があります。

〔対象・研究方法〕 対象：2017年4月1日以降に、当院を含む対象機関で緩和ケアを受けた患者さん
研究方法：ナルデメジンを使用した患者さんのカルテを事後的に検討します(利用する情報：年齢、性別、疾患の経過、検査所見、身体所見、投薬内容、利用する者の範囲：下記研究機関に所属する本研究の研究者)

〔研究機関名〕 帝京大学医学部附属病院、戸田中央総合病院

〔個人情報の取り扱い〕 氏名、住所、生年月日などの個人情報は収集しません。患者さんの識別にはIDのみを用い、外部に研究結果を発表する場合は、個々の患者さんを識別する情報は完全に除かれるため、個人の同定は不可能となります。本研究で収集されたデータは、本学の規程に従って厳重に管理されます。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：高木 雄亮（帝京大学医学部緩和医療学講座 助教）

住所：東京都板橋区加賀 2-11-1

TEL：03-3964-1211(代表)